

1 単元名・教材名 「Do you have a pen?」

『Let's try2』 Unit 5 「Do you have a pen?」

2 単元の目標

- 文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (知識・技能)
- 文房具などの学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。  
(思考力・判断力・表現力)
- 相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。  
(主体的に学習に取り組む態度)

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきり話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと 【やりとり】	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

4 単元の評価規準 ※記録を残す評価

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉「I have a ～.」「Do you have a～.」などの表現や、文房具や持ち物などの言い方など、情報を聞き取るために必要な表現や語彙について理解している。</p> <p>〈技能〉「I have a ～.」「Do you have a～.」などの表現や、文房具や持ち物などの言い方など、情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	自分や相手にあった文房具セットを作るために、映像から何がいくつあるかを捉えたり、会話から内容を捉えたりしている。	自分や相手にあった文房具セットを作るために、持ち物やなにをもっているかなどについての簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。
話すこと 【やりとり】	<p>〈知識〉「I have a ～.」「Do you have a～.」などの表現や、文房具や持ち物などの言い方など、情報を聞き取るために必要な表現や語彙について理解している。</p> <p>〈技能〉「I have a ～.」「Do you have a～.」などの表現や、文房具や持ち物などの言い方などを理解し、伝え合う力を身に付けている。</p>	自分や相手にあった文房具セットを作るために、相手に伝わるよう工夫しながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。	自分や相手にあった文房具セットを作るために、持ち物や何を持っているかなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。

5 指導上の立場

(1) 単元観

本単元では、「新本小の先生におすすめ文具セットを作ろう」というゴール設定をし、そのために文房具

を尋ねたり答えたり伝え合ったりする学習を重ねていく。

これまでに児童は、英語科で好きな遊びや曜日を尋ね合ったり、自分の好きな時間を伝え合ったりする活動を通して、英語によるコミュニケーションを身に付けてきた。

そこで、本時では、言語の習得の場面を設定している。英語科として初めて扱う、「I have a ○○」の表現を使いながら、友達と交流する中で、自分の伝えたいことを英語で表現することや、相手と英語でコミュニケーションをとることの喜びを改めて感じることができるようになりたい。また、具体物を用いながら活動ができるように、アプリを使用する。文房具セットを自分で作成し、具体物を紹介しながら話すことで、自信をもって活動に取り組めるようにしたい。

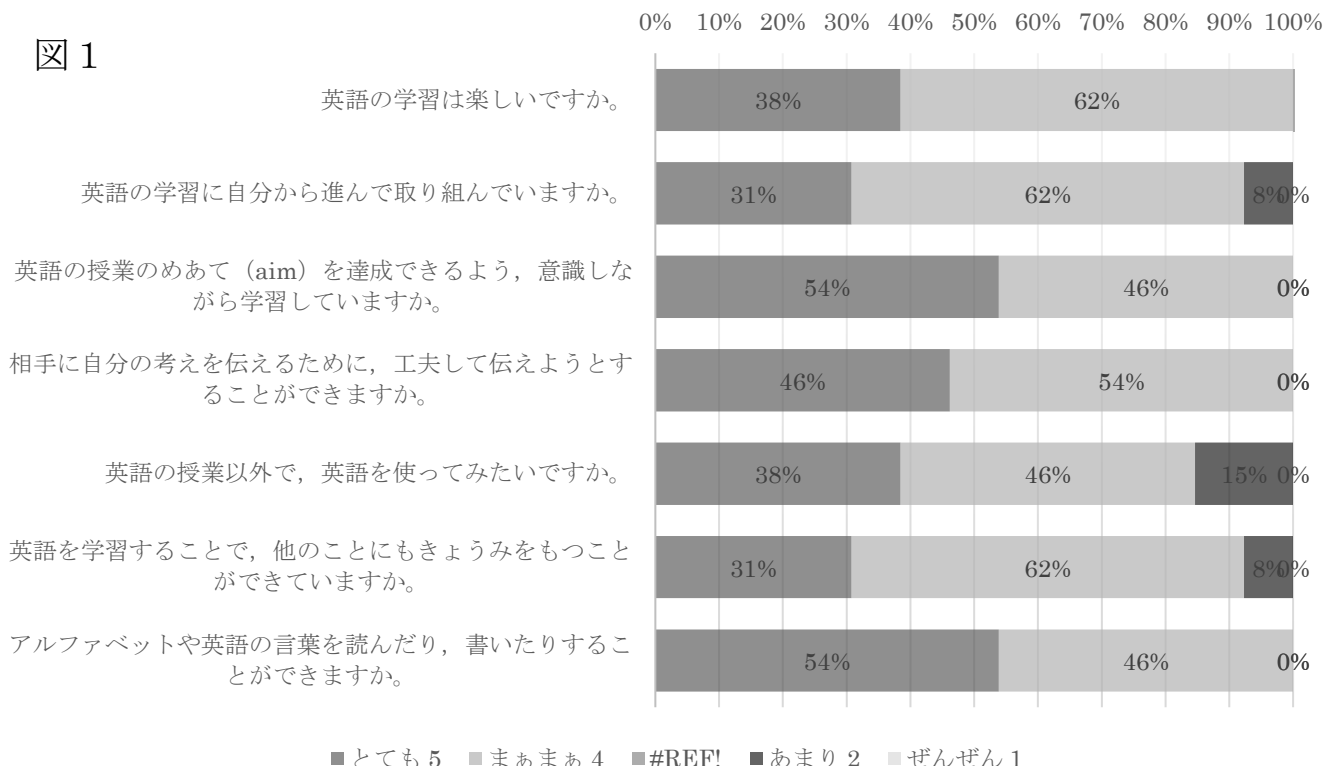
(2) 児童観 (男子5名 女子8名 計13名)

今年度5月に行った英語アンケートでは、「英語の勉強が楽しいですか」に対して児童全員が肯定的な回答を示している。また、他の項目においても肯定的な回答が多く、前向きに学習に取り組むことができていることが分かった。一方で「英語の授業以外で英語を使ってみたいですか」に対しては、約15%の児童が否定的な回答をしており、普段の生活に結び付く、必然的な英語が課題となることがわかった。

そこで本単元では、児童が英語の学習に進んで取り組むことができるように、聞くだけでなく話すことにより重点を置いていく。自分の伝えたいことを英語で伝える経験を味わうことで、さらに「英語でもっと話してみたい」「もっとこうしてみたい」という主体的な学びを期待する。また、ICTの活用をきっかけに、視覚的にも分かりやすく活動に取り組むことができるようにしていきたい。

### 英語アンケート (4年)

図1



### (3) 研究主題との関わり

本校の研究主題は「主体的に学びに向かい、思いや考えを伝え合う児童の育成～本物で必然性のある外国語活動・外国語科を通して～」であり、本校の考える仮説についての基本的な考え方は、次の2つである。

#### 仮説

- 1 目的意識や相手意識・必然性を感じる課題設定を考えることで、児童が主体的に学びに向かい、様々な事柄への見方・考え方を広められるようにするだろう。（新本オリジナル）
- 2 児童に到達してほしい姿を示し、課題においてどのような姿を目指すのかを、児童と教師の双方が理解しながら活動することで、「学びに向かう力、人間性等」を高めることができるだろう。

#### 1 について

本単元では「友達におすすめ文具セットを作ろう」というゴールを設定することにより、児童が主体的に学び、やりとりの必然性をもって取り組むことができるのではないかと考える。

本学級の児童は、相手と交流をして学びを深めたり、友達と協力をして学習をしたりすることを進んでできる児童が多い。一方、自信がないことには消極的になってしまい、一歩引いてしまう児童の姿も少なくない。そこで本時では、言語の習得場面を設定した。学習した用語を用いながら、友達とコミュニケーションをとっていくことで、用語を確認しながら学習に取り組んだり、自分の思いを英語で相手に伝えることができる喜びを感じることができるようにしたい。

#### 2 について

単元の初めにやりとりのモデルをゴールとして示すこととする。担任と ALT の会話から、視覚的に単元のゴールをつかむことができると考える。また、初めのやり取りを見て、「どんなことが大切か。」を問うことで、児童と一緒に課題を認識できるようにしたい。

また、My Aim を設定する。自分がどうなりたいか、何を頑張りたいかを明確にしておくことで、意欲的に学習に取り組むことができると考える。さらに、学習後には My Aim に対する振り返りを行い、自分の成長や今後頑張りたいことへ目を向けられるようにしたい。

6 本時案 (2/4 時)

(1) 本時のねらい

- ・ 新しい表現を用いながら、オリジナル文房具セットの中身を伝えることができる。
- ・ 自分の作った文房具セットを英語で紹介したり、聞いたりすることで、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わうことができる。

(2) 展開

学習活動	教師の指導・支援( ●HRT, ■ALT )	学習評価
<p>1 Greeting</p> <p>2 Warm up Chant</p> <p>3 Review Demonstration</p> <p>4 Aim</p>	<p>●■英語で挨拶をした後、気分や天気、曜日、日付、好きなものなどについて尋ねることで、日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>●■チャンツでは、実際に持っている文房具を「Yes, I do.」持っていない文房具を「No, I don't.」で答えることで、意欲をもって取り組めるようにする。</p> <p>●■デモンストレーションを見せることで、本時のめあてをつかむことができるようにする。</p> <p>● Now, I will introduce my stationery to you.          ■ OK.          ● This is my pen case. Open~~          I have a ruler. I have an eraser. I have a glue stick.          I have a pen. I have pencils.          ■ How many pencils do you have ?          ● I have...one, two, three... ... twenty pencils.          ■ Wow! You have twenty pencils. Too much.          Do you have a stapler?          ● No I don't. I don't have stapler.</p> <p>●どんなことが分かったか話し合い、本時のめあてをつかむことができるようにする。</p>	
<p>Aim 友達にオリジナル文房具セットを伝えよう。</p>		
<p>5 Practice</p> <p>6 Activity</p>	<p>●My Aim として、本時で特に頑張りたいことを自分なりに考えることで、自ら学ぼうとする意欲を引き出すようにする。</p> <p>●本時で扱う新しい英語表現を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>I have a ○○. I don't have ○○.</p> </div> <p>■模範として発音し、児童が正しく言えるようにする。          ■既習の単語（文房具）をカードで確認しながら発音する。</p> <p>●■交流をする際のデモンストレーションを見せることで、活動に見通しをもって参加できるようにする。</p> <p>●I have a two pencils.          I have a eraser.          I have a ruler.          I have a glue stick.          I don't have pen.</p>	

<p>交流（前半） ペアで</p>	<p>■Wow! It's nice.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●予めパソコン上で文房具セットを作っておくことで、活動時間を十分に確保することができるようにする。</li> <li>●自分の作った文房具セットの中身を友達と伝え合う。その際、話し手は相手に伝わるような話し方をする。聞き手は話し手のいいところを発見しながら聞くことができるよう声掛けをする。</li> </ul>	<p>◇新出の表現を使いながら、自分のことを伝えることができる。〈行動観察〉</p> <p>【思・判・表】<input type="checkbox"/></p> <p>【主】<input type="checkbox"/></p>
<p>中間交流 全体で</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■発音に困っている児童には、教師が実際に発音をして見せることで、会話ができるようにする。</li> <li>●聞き手は話し手のよかったところを称賛するよう伝え、児童の自信につなげることができるようにする。</li> <li>●友達のよかったところや交流する際に気を付けたことを確認することで、後半での交流のポイントを確認する。</li> </ul>	
<p>交流（後半）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●後半の交流時間を作ることで、中間交流で確認したことに気を付けながら意欲的に話すことができるようにする。</li> </ul>	
<p>6 Comment time</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時の学習で新たに学んだこと、今後生かしていきたいことを振り返り、今後の学習に対する意欲を高められるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作った文房具セットを友達や先生に紹介できてうれしかった。</li> <li>・「I have ○○。」の表現を使って話せたので、今後も使いたい。</li> </ul> </div>	<p>◇自分の変容に気付いたり、学びを自覚したりしている。〈書き込み点検〉</p> <p>【思・判・表】<input type="checkbox"/></p> <p>【主】<input type="checkbox"/></p>
<p>7 Greeting</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●■気持ちのよい挨拶をすることで、次時への意欲を高めることができるようにする。</li> </ul>	

(3) 板書計画

Goal	友達におすすめの文房具セットを作ろう。
Aim	オリジナル文房具セットを作って、紹介しよう。
schedule	<p>I have a ○○.</p> <p>I don't have ○○.</p>

8 本単元で使用したアプリ

出典：e-net(熊本市地域教育情報ネットワーク) <http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/>